共ニ之ガ結末ヲ図リ組合員ノ罷業勧誘、就業妨害ヲ奏効
セズ 一方上阪ノ本社詰同委員ハ徒ラニ荏苒日ヲ空ウシ
遂ニ不得要領ノ姿ニアリ 又
在阪工場ノ組合員モ至極平静ニシテ此際立ツベクモ見エズ
時ハ愈々歳末ニ迫リ組合ノ気勢益々昂ラズ

十二月十八日 ○就業阻止行為ニ依ル就業状態ノ消長
○[illegible]シ組合員ハ部落ニ入リ寄附金ノ募集ニ[illegible]
業ニ妨[illegible]
○組合側ノ静穏ハ困窮者ニ應援者
ヲ帰リ形勢稍好転ス

十二月十九日 ○組合員一〇〇名 端出場坑口ニテ就業
○[illegible]一部 東平ニ上リ[illegible]就
業状態[illegible]

十二月[illegible] ○改善会員ノ結束固ク切崩サルヽ憂ナシ

十二月二十日 ○組合演説会気勢昂ラズシテ散会 会
員ニ五〇名

十二月二十二日 ○午前一時大矢、岩井外十名就業許
○ニ来リ高尾労働課長ニ面会ヲ求メシモ
拒絶ス
○午後一時半ニハ原伝吉、平田雄太及総同
盟大阪聯合会ノ奈山茂真、末松、杢山[illegible]
[illegible]課長ニ面会ヲ求メ会談ノ模
様[illegible]原等ニ不利[illegible]

十二月二十三日 ○天王寺公会堂ニ於テ住友争議演説会
○同[illegible]加藤勘十、原伝吉、外
上阪シタル代表者登壇 在阪工場組合員